

Vol.30  
2017 WINTER

ISSUE

[繋ぐ]

愛でる Special Issue:

# 日本の祝いのかたちを 和紙に写す「和菓紙」

**出会う** 顧客満足度の高い提案を続ける  
卸商営業の複眼的思考とは?

**先どる** 鉛筆画が紙から浮かび上がる  
永井秀幸さんの「3Dアート」



# 日本の祝いのかたちを 和紙に写す「和菓紙」

艶やかな和紙に浮き上がる、福々しいモチーフたち。

これらは、かつて和菓子づくりに使われていた木型を、和紙でていねいに写し取ったもの。

美術作家・永田哲也さんの「KIOKUGAMI 和菓紙三昧」と名付けられた作品の数々は、

木型職人の優れた意匠、和紙ならではの特性、作家の感性という

3つを組み合わせることで、日本の伝統文化を表現した現代アートです。

往時の職人が木型に込めたアイデアや精巧なノミ跡が活かされた作品の

軽やかな質感と優しい風合いの中には、

古くから大切な人の幸福を願う、日本人ならではの祝いの記憶が詰まっています。

**愛でる** ..... P01

日本の祝いのかたちを  
和紙に写す「和菓紙」

**辿る** ..... P06

和の魅力が詰まった  
「百人一首かるた」が再ブーム

**伝える** ..... P07

自由を愛する詩人から届いた  
奔放な性格を表す手紙

**先どる** ..... P09

鉛筆画が紙から浮かび上がる  
永井秀幸さんの「3Dアート」

**出会う** ..... P11

満足度の高い提案を続ける  
卸商営業の複眼的思考とは？

**広げる** ..... P13

「地図」の魅力を見つめ直す  
本物志向の文具

**深める** ..... P14

KPPの最新ニュースを  
キャッチアップ

**訪ねる** ..... P15

紙の魅力を体感できる  
「ペーパーイベント・カレンダー」

**作る** ..... 付録

3種の組み合わせを楽しむ  
「マトリョーシカ風ポチ袋」



和菓子と和紙という2つの伝統文化に  
込められた祝いの気持ち、  
日本人が大切にしてきた和のこころを表現する  
「KIOKUGAMI 和菓紙三昧」。



現代美術作家  
永田哲也 さん  
Nagata Tetsuya

1959年大阪府生まれ。東京藝術大学大学院美術研究科修士課程修了。作品の主なテーマは、「時間」と「空間」。ものごとの現実的な表皮を和紙に採取し、そこに内包された記憶・イメージを視覚的、触覚的に表現する三次元の立体、エンボス作品を制作する。美術館やギャラリー展示のほか、インスタレーション、ディスプレイ展示へと活動領域を広げ、近年は「日本の記憶」をテーマにした「和菓紙三昧」シリーズを発表。インテリアコーディネートやギフトなどへもアートワークを展開することで、日常的に楽しむアートを提案し続ける。第8回現代美術今立紙展佳作賞(1988年)、エンバ賞美術展新人賞(1990)受賞など。

HP : [wagashizanmai.s2.weblife.me/resume.html](http://wagashizanmai.s2.weblife.me/resume.html)

もあります」と永田さん。アトリエに保管されている木型は、北海道から九州までを渡り歩いて和菓子店から譲り受けたものや、骨董市で見つけたもの。個々の木型に宿った記憶を集積させ、時空を超えた物語に仕上げる永田さんの作品には、歴史の変遷と往時の人々の記憶、大切な人の幸せを祝う晴れやかな気持ちが詰まっています。

永田さんがひとつの作品を完成させるまでには、最低でも3カ月。大きな作品ともなると1〜2年かかることも珍しくないそうです。「ある程度テーマが固まった段階で、作品を展示する現地に赴きます。そこで膨らんだイメージに合った木型があれば、あらためて探しに行くこともあります」とのこと。そのモチーフは、縁起物の定番だけでなく、野菜や果物、魚介や人物、なかにはバッタやセミなどの昆虫や昔話を題材にした意外なものも。江戸時代から精巧かつ多様に進化したと言われる木型の、多彩なアイデア、ユーモア溢れる造形から、その土地に暮らす人々の暮らしが垣間見えるようです。「金花糖は、煮溶かした砂糖を型に流し込み、冷やし固めた和菓子。木型を一枚合わせてつくる際、流し込む材料の容量も正確に決まっています。砂糖だと造形のディテールの精度が少し落ちますが、和紙で型を打つとその精巧さがしっかりとわかる。これも木と和紙の相性が良いからではないでしょうか」。菓子の完成形をイメージしながら版画と同様に左右・凹凸を反転して彫る、当時の木型職



(写真:左上)菓子型と和紙を刷毛を使って密着させ、半日から1日ほど日陰干しする。(右上)西ノ内和紙。「晒し」は陽に晒したため白く、「未晒し」は楮の繊維そのままの茶色。(左下)木型からはがした状態。木型のディテールまできれいに写し取られている。(右下)粗くカットした余白どうしを接着し、ひとつの作品に仕上げていく。



(写真:左上)同じ鯛がモチーフでも、その姿形は千差万別。(右上)アトリエは高台にあり、たっぷりの陽ざしが降り注ぐ。(左下)竹骨を用いた扇作品は、インテリアとしての人気も高い。(右下)桃太郎など、日本のおとぎ話をモチーフにした菓子型も。

人の高い技術に永田さん自身が魅了されているのはもちろんですが、作品を見た和菓子職人さんに「木型がここまで美しく精巧にできていたとは」と、逆に驚かれたこともあるそうです。日本人の暮らしを彩ってきた和菓子文化は、現代にアートとして甦り、私たちの遠い記憶に訴えかけるのです。

菓子の木型を写し取るのに使用する和紙は、茨城県の無形文化財に指定されている西ノ内和紙という手漉き和紙です。「その質感は絹に例えられるほど艶やか。それでいて、千年持つほど丈夫なこと、作品の材料として選んだ理由です」と永田さん。力強さを感じさせる作品の風合いは、手づくりゆえの品質で、自然とともに時空を超えて存在している和紙だからこそ表現できるのだそうです。

永田さんの作品は、すべてが手作業。木型の意匠を和紙で型取る工程にも、手間がかかります。「桜鯛であれば、最初に目にあたる金色の和紙を引き、その上から胴体に赤、側面には薄いピンク色に染色した西ノ内和紙を乗せる。その上から白い「晒し紙」を引いた後、木型に定着させていきます。さらに四国産の和紙を使って裏打ちして、ひとつのパーツが完成です。海老などの場合は、グラデーシヨンの異なる色のついた和紙を8枚程度重ねていくんです」。美しく紅白に彩られた、ひとつのモチーフは、それを照らす光によって独特の陰影を放ちます。

鯛や鶴亀、松竹梅、富士山、だるまや七福神など、縁起の良いモチーフが重なり合うように組み合わせられたコラーージュ。これらは、すべて和菓子の木型から型取ったもの。和菓子のように見えますが、じつは、和紙でできています。今では目にする機会が減ったものの、日本にはかつて七五三や結婚、長寿のお祝いといった人生の節目、正月や桃の節句など四季折々の場面に、落雁や金花糖などの菓子を捧げる風習がありました。その菓子づくりに使われてきた木型の造形を和紙で写し、作家独自の感性を組み合わせることで生み出された作品シリーズが、KIOKUGAMI 和菓紙三昧です。

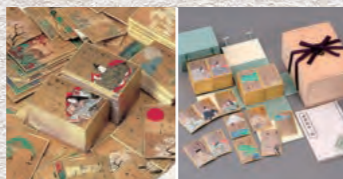
「私が表現するのは、日本各地の祝いの記憶です」。そう話すのは、現代美術作家として国内外の注目を浴びる、永田哲也さん。「同じ鯛でも、まったく造形や表情が違うでしょう。それぞれに時代も違えば、つくられた土地、彫った職人さんも違います。菓子の材料や用途も含めて、ひとつの木型に個別の記憶があるんです」。永田さんがこれまでに収集した木型は約2000点。いくつかピックアップしていただいた鯛の型を見ると、その顔つきやウロコの細工、尾の曲線など、ひとつとして同じものはありません。「木型は和菓子屋さんごとのオーダーメイドなので、地理的条件や庶民の文化が色濃く残っています。時代によってデザインの流行もあります。和菓子に使った砂糖の成分が菓子型にしみ込んでるので、甘い香りがしたり、和紙にうつすらと色がつくもの





今回のテーマ

## 百人一首かるた



「光琳かるた 金紙仕上げ」  
129,600円 大石天狗堂  
<http://www.tengudo.jp>

江戸中期の巨匠、尾形光琳が描いた、史上最も美しいと称される百人一首「光琳かるた」の復刻版。まばゆいばかりの金紙を用い、原本の金彩を忠実無比に再現した最高級品。「法橋光琳」の署名を宿押した桐箱入り。

## 和の魅力を凝縮したアンソロジー、いにしえの言葉で綴る、百人一首の魅力とは？

羽根つきや凧あげ、福笑いや双六と並んで、古くから正月に楽しむ遊びとして親しまれてきた「百人一首かるた」。日本の古典文学の代表であり、中学校や高校の授業で学び、暗記させられたという方も多くはないでしょうか。そんな百人一首かるたが近頃、少年少女のあいだで空前のブームに。「競技かるた」を題材にした人気コミック『ちはやふる』が映画化（2016年・東宝）されたことで競技人口が大きく増加するほどの人気ぶりだそうです。「競技かるた」とは、読み手の、上の句を聞き、相手よりも早く、下の句の書かれた札を取る競技のこと。その競技人口は100万人ともいわれ、全国大会はなんと年間約60回も開催されるそうです。その最高峰となる大会が、毎年1月に開催される「名人位決定戦」（男性限定）と「クイーン位決定戦」（女性限定）。予選を勝ち抜いたうえで、さらに前年の優勝者と対戦。それに勝利すると、名人、またはクイーン、の称号を手にすることができます。ちなみにこの決定戦は「小倉百人一首」の巻頭歌を詠んだ天智天皇にちなみ、祭神として祀られている滋賀県・大津市にある近江神宮で行われます。

この頂上決戦をはじめ、全国のかかるた大会で使用されている公認かるたを製造するのが、京都の老舗・大石天狗堂です。同社では未使用の状態で見られた尾形光琳筆の「小倉百人一首かるた」を見事復刻。原本の金彩を忠実無比に再現した繊細な美しさ、極薄の金紙を一枚ずつ手貼りして仕上げた贅沢な作品は、その価格とともに大きな話題となりました。

わずかに三十一文字に込められた、歌人百者百様の想い。美しい季節の色彩や豊かな生活文化を表す洗練された言葉。現代を生きる私たちの心と重なり合う日本人のメンタリティがそこには詰まっています。日本の伝統に親しむ機会の多いお正月。和の魅力が詰まった百人一首かるたにあなたも触れてみませんか？



京都恒和ビルの中2階エントランスに飾られている作品「玉手箱山海の幸流天図」(2015)。その他、各階のエレベーターホールにも、永田さんの作品が飾られている。



ギャラリー le bain(東京)にて展示された「永田哲也のお正月」(2011)



長野県信濃美術館(長野)で開催した「五感でアート展」に出展した「和菓紙景 水槽のある室」(2007)

永田さんは美術館やギャラリーでの展示のほか、百貨店やホテルでのディスプレイ展示、カタログや雑誌の表紙などへも数多く作品を提供。さらには、虎ノ門ヒルズ内の外資系ホテルや京都恒和ビルなどの複合商業施設のインテリアにも作品が採用されるなど、さまざまな空間を彩るアートとして、日本人だけでなく海外の方からも高い評価を受けています。また近年では、和菓紙三味のシリーズとして、熨斗袋やメッセージカード、小箱や団扇、部屋を飾るインテリアグッズにも積極的に作品を展開。和紙ならではの温かさ上品さ、エッジの効いたエンボス効果が生み出す美しさが、感度の高い人々に人気です。

「日本には、生活のなかにアートを取り入れる文化が浸透していません。アートは希少性も含めてひとつの価値であり、他人と同じものを好む国民性や小中学校での美術教育にも壁があると感じています。これからも作品に親しみやすい工夫を加えることで、日常的にアートを楽しめる文化をつくりたいですね」と永田さん。日本人の美意識の結晶である和菓子とそこに込められた祝いの気持ち、豊かな自然が育んだ和紙。3つの伝統文化を新たな解釈で表現したアートで、新春を華々しく彩ってみませんか？



祝儀袋



お飾りばち袋



ピクピクシリーズ「いきいき鯛」・「はまぐり」



お飾り小箱



# 「手紙」は語る

植村 鞆音

人間は表現する動物だというのが、手紙は人間の表現のなかでもっとも深く高貴なものだと思う。手紙は手書きがいい。眼光紙背に徹すれば、書き手の人となりが見えてくる。

## 第九回 富田 碎花

前回、金子光晴さんの回で『人に歴史あり』という番組について触れた。探し出した台本を開いてみると、出演者としてメイ・ケストの金子光晴さんとご家族のほか、黒田忠次郎、富田碎花、中西悟堂、井上康文、サトウハチロー、西村光月、松尾邦之助、壺井繁治、岡本潤などの名が載っている。半世紀も前のことなので、名前を記憶する人も少ないに違いない。

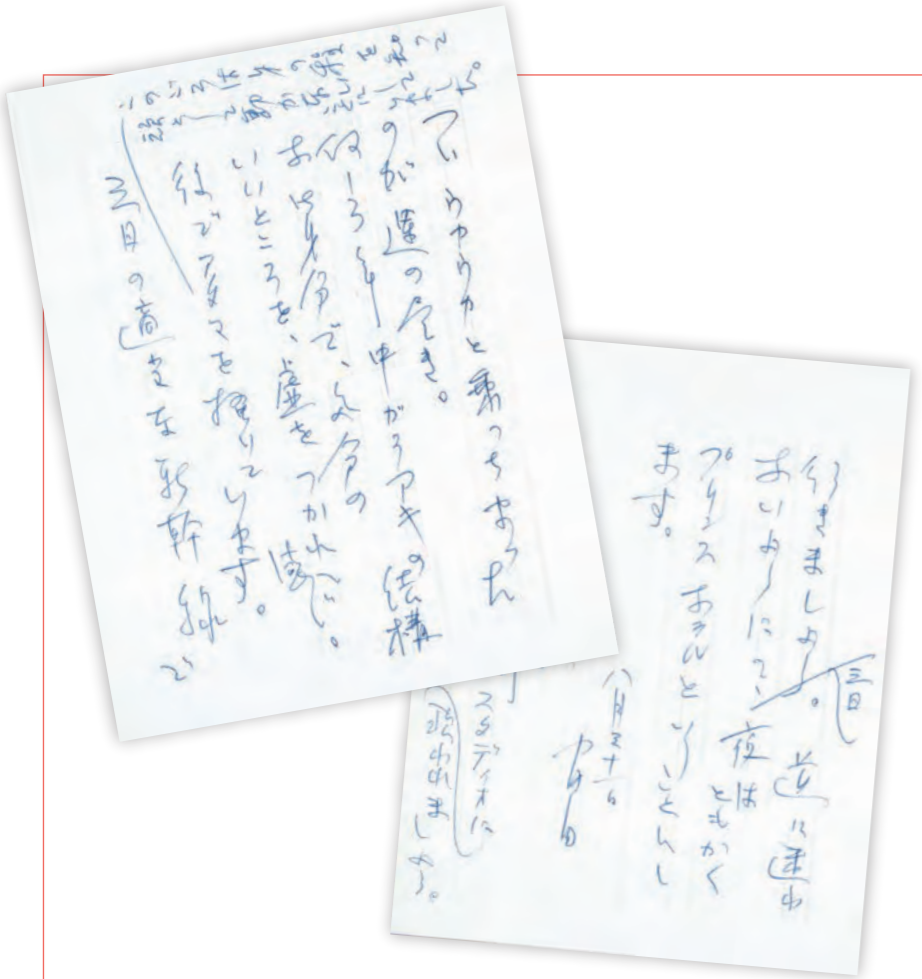
わたしは、この番組に関わったことで富田碎花という詩人に出会った。明治二十三年生まれ。番組が放送されたのが昭和四十四年九月のことだから、数えてみると詩人七十八歳のときのことである。

富田碎花は、金子光晴の五歳年上で、W・ホイットマンやE・カーペンターといった当時の欧米等の民主主義詩人たちの詩を日本に紹介し、若き日の金子はおおいにその影響を受けたといわれる。ホイットマンの名や「草の葉」という詩集の名は文学史の教科書にも載っていたし、たしかその詩（むろん日本語訳）も読んだ記憶がある。ただ、その詩が「わいせつ」だとか、セクシュアリティについて「両性愛者」といわれたなどということは後年になって知った。通っていた大学に近い駅の側に長いこと「草の葉」という質屋があったが、あれはまだ枯れずに残っているのだろうか。

かく変わっていた。ひとつ間違えば気がいなくなるところがあった」と評した。また、「金子の放浪好きは自分や福士の影響ではなかったろうか」ともいった。福士というのは富田の二年先輩の詩人・福士幸次郎のことで、金子が「回目の渡

欧後にまとめた詩集『こがね虫』の原稿を最初に評価したが、富田と福士だった。「バルナシアンだ」と富田はわたしにいった。バルナシアンというのは「高踏派詩人」の意味らしいが、当時のわたしにはよく理解できなかった。

自慢話めくが、わたしは人間好きのせいが出演交渉で断られた経験が少ない。はなから外したのは幸田文さんと笠智衆さんくらいである。それも、出演の条件でもめたわけではなく、自分はテレビ番組で取りあげられるほどの人間ではないという謙遜の意味の辞退であった。ところが、さほどむづかしいと思わなかった富



とみた さいか  
**富田 碎花**  
詩人  
1890-1984

岩手県盛岡市出身。日本大学殖民科を卒業後、石川啄木の影響を受け歌人となる。1915年に最初の詩集「末日頌」を上梓、大正期を彩った民衆詩派の詩人として活躍。全国高等学校野球選手権大会の前身である全国中等学校野球大会や日本体操大会の行進歌や大会歌の作詞のほか、全国の小中高校の校歌も数多く手がけた。現代詩の詩集を対象としてその名を冠する「富田碎花賞」は1990年から始まっている。

わたしは、若き日の金子光晴を知るため芦屋の自宅に富田を訪ねた。立派な邸宅、そして立派な本人だった。日本の詩人というと、えてして青白きインテリのイメージを抱きがちになるが、笑顔のふくよかな偉丈夫。詩人というより教養ある文化人という出で立ちだった。これも後になって知ったのだが、富田の邸宅はかつて谷崎潤一郎が三番めの夫人・松子と住んだ家、谷崎の『猫と庄造と二人のをんな』の舞台だったといわれる。十部屋あった大邸宅は終戦の昭和二十年八月六日（広島に原爆の落ちた日）空爆により焼失、焼失を免れた書齋と戦後建てられた母屋は現在「富田碎花旧居」として一般に公開されている。記憶は定かでないが、わたしが富田を訪ねたとき通されたのはたぶんこの母屋の二室だったのだろう。

富田さんは、この頃詩作は卒業して神戸新聞の顧問をされていた。富田さんと金子さんの濃密な交流があったのは、大正の中頃、富田さんが三十三歳、金子さんが二十五歳の頃、わずか数年のことである。金子さんは義父の死去により当時の金で二十万円という遺産を手にして放蕩と享楽と放浪に明け暮れていた。その頃の金子さんのことを富田さんは番組の中で、「とに

田碎花さんの出演交渉には思いがけずこずった。質問には笑顔で応えてくださったし、取材を終えたあとは神戸の「ハナワグルル」で夕食までご馳走になった。それでも、ねばって、夕食のあとようやく出演のご承諾をいただいたのである。

「ついウカウカと乗っちゃったのが運の尽き。何しろ年中ガラアキの結構なご自分で、気分がいいところを、虚をつかれた感じ。後でアタマを掻いていきます。三日の適当な新幹線で行きましょう。道に迷わないように？ 三日夜はともかくプリンスホテルということになります。八月三十一日 植村様 ご指示のように4日2PMにはスタジオに現れましょう。」

これが収録の九月四日直前、私に届いた手紙。「一枚目の上部にはみ出して横なぐりに、「このごろは身の程を知って頑として動かないことになっています。収録は賑やかに終了し、放送も無事だった。その後、亡くなるまでに私はもう一度神戸の「ハイウェイ」で詩人にご馳走になった。理由はよく覚えていない。ネットで調べてみたら、「ハイウェイ」も「ハナワグルル」もまだ健在の様子。近々、「富田碎花旧居」を訪ねながら、「ハナワグルル」か「ハイウェイ」で往時を偲んでみたいと思っている。

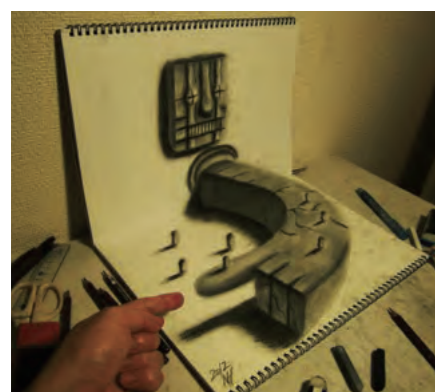
著者略歴  
うえむら ともね  
**植村 鞆音** エッセイスト

小説家・直木三十五の甥、東洋史学者・植村清二の子として愛媛県松山市に生まれる。1962年早稲田大学第一文学部史学科卒業後、東映、テレビ東京に勤務。1994年同局常務取締役。1999年（株）テレビ東京制作代表取締役社長。DACグループ顧問。農業生産法人NIKI Hillsファーム相談役。2005年「直木三十五伝」で尾崎秀樹記念・大衆文学研究賞受賞、2007年「歴史の教師植村清二」で日本エッセイスト・クラブ賞受賞。主な著書に『夏の罫』『気骨の人 城山三郎』など。





「未知への招待」



「案内」



「悪魔の誘い」



「守護神」



「放浪者」



「ゴール」

## 鉛筆画が浮かび上がる、永井秀幸さんの3Dアート。

不思議なキャラクターが壁面から飛び出てきたり、階段やブロック壁が突き出ているように見えたり。特定の一点から見ると立体的に見える人間の脳の錯覚を利用した技法によって、スケッチブックと鉛筆による独創的な作品を創り続けているのが、3Dアーティスト・永井秀幸さんです。スケッチブックの半分を、壁に立て掛けるようにしてL字形に置いて描かれる作品は、そこに登場するキャラクターの魅力とあいまって、空想の世界が現実に存在するかのような摩訶不思議な世界をつくりあげています。インターネットの動画サイトを通じて発信されたメイキングムービーの評判は、またたく間に世界に拡散。アメリカ・イギリス・中国の雑誌にも特集記事が掲載されるなど、誰もが楽しめる新しいアートとして喝采を受けています。

### — 絵を描き始めたのはいつですか？

「子どもの頃からですね。少年漫画が好きだったので、そこに登場するキャラクターをよく描いていました。私の3Dアート作品に頻繁にモンスターが登場するのも、その当時の影響ですね(笑)。とくに美術系の学校に通ったことはなく、絵はすべて独学で学びました」

### — 現在の表現スタイルに至った経緯を教えてください。

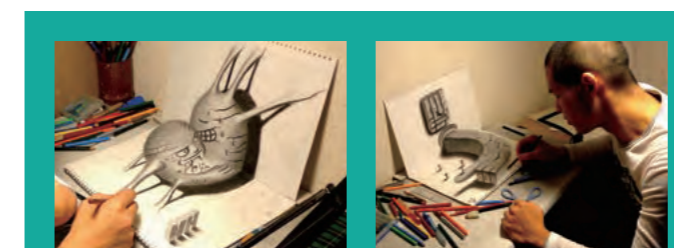
「大学を1年で中退してすぐに作家活動をはじめたのですが、当時描いていたイラストの評価はそれほどでもありませんでした。そんなとき、ふと『このキャラクターが、平面の紙から飛び出てきたらビックリさせられるのかな』と思ったのが、3Dアートを描きはじめたきっかけです。ここからは試行錯誤の繰り返し。思いついたアイデアを試していくうちに、今の技法と作風に辿り着きました」

### — 作品ができあがるまでの工程を教えてください。

「2冊のスケッチブックのうちの片方を、壁に立て掛けるようにセットしたら、常に立体に見える角度を確認しながら進めていきます。制作時間は作品によって異なりますが、早ければ3、4時間。なかには完成までに1～2週間かかるものもあります」

### — モチーフはどのように決めていますか？

「基本的には、空想の世界や生き物を描くようにしています。この世に存在しないものが浮かび出るからこそ、不思議な世界をよりリアルに体験していただけたらと思うので」



これまでに制作した作品は約100点。実際に描く作業よりも、アイデア出しに多くの時間がかかる。



永井 秀幸 さん

ながいひでゆき○1991年生まれ、大阪市在住。2012年より、スケッチブック2冊を垂直に組み合わせることで、絵が飛び出したように見える3Dアート作品を発表。動画サイトに自ら投稿した制作過程の動画が話題を呼び、国内メディア、海外の雑誌でも大きく取り上げられる。2015年に開催された個展では10万を超える来場者数を記録するなど、世界からも称賛を集める注目の3Dアーティスト。  
HP:nagaihideyukiart.jimdo.com

### — 作品づくりに使用される材料、道具について教えてください。

「私の作品に使用するのは、主に鉛筆とスケッチブックのみ。鉛筆は、濃淡を使い分けるためにFから6Bまでのものを使いますが、スケッチブックや画用紙は量販店で売られている、ごく一般的なものを使っています。作品を描きはじめた頃から、費用をかけなくてもアイデアと工夫さえあれば魅力的で面白い作品ができるという思いがあり、今でもこのスタイルを続けています」

### — 3Dアートの魅力は何だと思いますか？

「個展に来場してくれた方の多くが、立体的に見える角度を探しながら作品を楽しんでくれています。そのようなアトラクション要素があること、子どもから大人まで誰もが楽しめることが一番の魅力だと思います」

### — 海外からは、どのような反響がありますか？

「動画投稿サイトやSNSにたくさんメッセージをいただきますが、外国人は『Amaaaaaazing!』とか『goooooood!』のような大きなきなメッセージが多いので、面白いです(笑)」

### — 今後の創作活動の抱負を教えてください。

「さまざまなメディアとのコラボレーションなど、自分が面白いと思ったものには積極的に挑戦していきたいと思っています。個展では、飛び出してくる絵と記念撮影できるスポットなど、より楽しんでいただくための仕掛けも考えています。また、照明の明るさによっても作品の雰囲気が変わってくるので、もっと新しい発見を提供できるように表現の仕方も工夫していくつもりです」

### — 「TSUNAGU」の読者へのメッセージをお願いします。

「3Dアートの書籍や絵本も手がけていますが、生で見る原画の迫力はひと味違います。興味を持っていただいた方には、ぜひ展示会場に来ていただき、直に作品を観ていただけたらうれしいです」

展示会情報

### 「永井秀幸 3Dアートと絵本原画展 - ひみつのちかしつ」

会期: 1/14(土)～3/20(月・祝)  
会場: ZENT ART museum  
(愛知県名古屋市中区中切町5-5)  
料金: 無料

### 永井さんが描いた2冊の絵本

『とびだす! 3Dアートえほん ふしぎなかいだん』  
(2014年・金の星社)



海の底で階段を発見。不思議な生き物たちと遭遇しながら、どこまでも続く長い階段を登っていくと、思いも寄らない世界が待っていた……。

『とびだす! 3Dアートえほん ひみつのちかしつ』  
(2016年・金の星社)



ひとりぼっちの「ぼく」が、ネズミくん案内されるがまま、ひみつの地下室をめざす。そこに待っていたのは、不思議な生き物がたくさん住む世界だった。



▶ 自社企画展を開催、展示会に出展いたしました

**KPP築地ユポ®市場**  
(ユポ®展示会)

□会期:2016年11月7日(月)・8日(火)  
□会場:国際紙バルブ商事 本社エントランス

株式会社ユポ・コーポレーションさまのご協力により、ユポ商品の展示会を開催いたしました。ユポはポリプロピレン樹脂を主原料とする合成紙で、紙とプラスチック両方の特性を兼ね備え、商業印刷・パッケージなどあらゆる分野で使用されています。会期中は市場の設定で、ユポを使ったさまざまな製品をカテゴリー別に陳列し、当社社員が商品説明を行うことで、来場者の方が用途をイメージしやすいような展示を展開しました。



**エコプロ2016**  
～環境とエネルギーの未来展～

□会期:2016年12月8日(木)～10日(土)  
□会場:東京ビッグサイト

当社は2015年に引き続き、2016年も「エコプロ2016～環境とエネルギーの未来展」に出展いたしました。スーパー店頭での古紙回収システム「タウンecom」と、企業の機密文書回収システム「オフィスecom」の認知度向上を目的に、それぞれに関する「クイズ」と「利用体験」をご用意し、多くの来場者の方にご参加いただきました。



**中部支店 商品展示会**

□会期:2016年12月5日(月)・6日(火)  
□会場:国際紙バルブ商事 中部支店

中部支店では、2013年から商品展示会を開催しています。4回目となる2016年は「未来紙考～紙と共に歩む未来～」をテーマに、紙・板紙の特性をあらためて見直すとともに、これから求められる多様な商品・サービスをご紹介します。なかでも今注目が集まっているセルロースナノファイバー関連については、サンプルの展示と講演会を実施。多くの来場者の方の関心を集めました。



▶ 宮城県東松島市で和紙原料を収穫

2016年3月、宮城県東松島市にて、C.W.ニコル・アファンの森財団と共同で、地域の子どもたちとともに和紙の原料である楮と三桧を植樹しました。これは同財団の進める「震災復興プロジェクト」の一環であり、子どもたちが紙に親しみ、自然と人との関わりを学ぶために企画されたものです。去る11月19日には、その楮の初めてとなる収穫作業を行いました。今後、この材料を活用したイベント等を予定しています。



編集後記

新年おめでとうございます。さて、当社広報誌「TSUNAGU」が今号で創刊30号となりました。毎号、「巻頭特集は何にしようか」「当社の顔となる人物図鑑は誰に?」「付録の『作』は何が喜ばれるのか」などと、あれやこれやと制作スタッフと議論を重ねています。これからも50号、100号と末永くみなさまにご愛読いただける誌面をめざして参ります。本年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます。(J.S)

あけましておめでとうございます。毎年、1年のはじめには何かしら目標を立てますが、年末には一体何が目標だったか忘れてしまいますね。わたしは、今年も、今年こそは! 何事も締め切りギリギリにやる癖とおっちょこちょいを直して、立派な大人になりたいと思っています。(M.I)



エリア別テーマ

- MARUNOUCHI 「歴史的建造物」**  
重要文化財にも指定された近代建築など、歴史的建造物
- OMOTESANDO 「ファッション」**  
ファッションistaが集う表参道のファッション関連の店舗
- KICHIJOJI 「ねこ」**  
ねこカフェ、ねこグッズを扱う店など、ねこに関連したお店
- FUKUOKA TENJIN 「バス」**  
日本有数のバス文化が栄える街、福岡・天神のバス停
- KYOTO 「通り名」**  
口伝の唄にもなっている、京都市内の通りにつけられた名前
- UMEDA 「地下街」**  
「巨大迷宮」の異名をとる、大阪・梅田の地下街
- KOBE 「ペーカリー」**  
パンの聖地と称される神戸市に点在する人気ペーカリー
- YOKOHAMA 「ヨコハマ生まれ」**  
日本に初めて伝来した、さまざまな「発祥の地」を示す石碑
- SENDAI 「街路樹」**  
仙台の街並みを彩るケヤキやイチョウ、ハナミズキなどの街路樹
- SAPPORO 「石造り・れんが造り」**  
「赤れんが庁舎」をはじめとする、石造り・れんが造りの建物

「地図」の魅力を再発見できる  
本物志向のステーションナリー「mati mati」

「地図」は妄想をかき立てる道具。旅に出る前に眺めてその景色を想像したり、家に帰ってから歩いたルートをたどって思い出しに浸ったり。また近年では新旧の地図を見比べながらの街歩きがブームになるなど、地図の魅力が見直されつつあります。その人気は女性にも拡大。観光マップや古地図の収集マニアが出現するほど、地図にはまる女性が急増中なのだとか。

そんな地図好き女性の間で話題のステーションナリーシリーズがこの「matimati(まぢまぢ)」です。現在商品化されているのは、東京丸の内、大阪梅田などの全10エリア。実際の地図とその街ごとの特徴を示す場所がデザインされていて、クリアファイル、ノート、ドマスキングテープ、ふせんの4つのラインナップで展開しています。例えばそのひとつ福岡・天神のテーマは、その交通量が多いことで知られる「バス」。クリアファイルには表紙に建物のカタチ、2枚目には道路、3枚目にはバス停が印刷されていて、すべてを重ねると1枚の地図が完成するレイヤー構造になっています。

使用されている地図データは、すべて実際のもので、この商品を開発したのは、国内最大手の地図メーカー「ゼンリン」なので、建物つひとつのカタチや道路幅まで、その精巧さは折り紙つきです。自宅や職場、映画や小説の舞台など思い入れのある街をより身近に感じられる。地図柄。ステーションナリー。地図好きならずとも注目です。

「mati mati series」 発売:株式会社ゼンリン 商品の購入は、公式オンラインショップ「ZENRIN Store」、ロフト各店(一部をのぞく)にて。  
<http://www.zenrin.co.jp/goods/matimati/>



**3LAYER mati FILE**  
A4サイズのクリアファイル。異なるデザインのスリット4枚を重ねることで、1枚の地図が完成するレイヤー構造



**MAP WRAP NOTEPAD**  
B5幅・正方形のノート。中紙はデイカラーとナイトカラーの2色。切り離し可能なので、ラッピング紙や折り紙にも



**STREET MEMO TAPE**  
各エリアにある実際のストリートモチーフにしたマスキングテープ。道路の部分にメッセージを書き込める



**TRAVEL TAG FUSEN**  
街の特徴を表すピクトグラムをデザインしたふせん5種セット。ネームタグをイメージした台紙は、しおりにも最適



2/2(木)~4(土)

EXHIBITION

## 第12回KPP文化展

隔年で開催しているKPP文化展では、社員・社員家族・OBが制作したさまざまな作品を展示。絵画・書道・手芸など、一人ひとりが隠れた才能を発揮しています。ぜひご覧ください。



2/8(水)・9(木)

EXHIBITION

## 業務本部総合展示会 「機能満載!紙・素材」展

今回はタイトルを「機能満載!紙・素材」として高付加価値な製品を中心に展示します。併せて、全国カレンダー展調査結果および当社受注カレンダーも展示いたします。



- 会場: 国際紙パルプ商事本社(東京都中央区明石町6-24)2F会議室 ■料金: 無料  
■問い合わせ: 国際紙パルプ商事 経営企画本部 経営企画部 CSR・広報課  
■TEL: 03-3542-4169 ■HP: www.kppc.co.jp

1/2(月・祝)・3(火)

EVENT

## 北野天満宮 筆始祭・天満書

優れた書家としても知られる御祭神・菅原道真公を偲び斎行される、京都冬の風物詩。筆始祭の神事が行われた後、書道の上達を願って書き初めをすることができます。

- 会場: 北野天満宮社務所  
(京都府京都市上京区馬喰町)  
■料金: 書初め指定用紙 1枚50円・出品料 1点200円  
■問い合わせ: 北野天満宮社務所  
■TEL: 075-461-0005  
■HP: kitanotenmangu.or.jp

~1/22(日)

EXHIBITION

## 暮らしを寿ぐ切り紙 窓花

「窓花」とは、中国中央部にある農村の格子窓に飾られる、小さく美しい切り紙のこと。新年を迎え寿ぐ心を手仕事にこめた、素朴で温かみのある小さなアートが心を和ませてくれます。

- 会場: 無印良品 有楽町2F ATELIER MUJI  
(東京都千代田区丸の内3-8-3 インフォス有楽町)  
■料金: 無料  
■問い合わせ: 無印良品  
■TEL: 03-5208-8241  
■HP: www.muji.com/jp/events/4497/

~2/25(土)

EXHIBITION

## WASHI 紙のみぞ知る用と美展

優れた特性と加工技術によって暮らしのなかにも広く用いられた和紙。その可変性と豊かな造形文化を実資料とともに紹介する企画展。「衣」「食」「住」「遊」の各コーナー別に、お椀、傘、着物など江戸から昭和初期の最盛期につくられた貴重な紙製品約80点を展示します。



「修二会紙衣」 所蔵: 桂樹舎和紙文庫、撮影: 佐治康生

- 会場: LIXILギャラリー  
(東京都中央区京橋3-6-18東京建物京橋ビル)  
■料金: 無料  
■問い合わせ: LIXILギャラリー  
■TEL: 03-5250-6530  
■HP: www.1.lixil.co.jp/gallery/



「黒漆塗椀」 所蔵: 桂樹舎和紙文庫

2/8(水)~10(金)

EXHIBITION

## 第83回東京インターナショナル・ギフト・ショー春2017

約2,500社が出展、20万人の来場が見込まれる、パーソナルギフトと生活雑貨のトレードショー。販促・広告に関する「プレミアム・インセンティブショー」も同時開催されます。

- 会場: 東京ビッグサイト 全館  
(東京都江東区有明3-11-1)  
■料金: 無料(事前登録制)  
■問い合わせ: 事務局  
■TEL: 03-3843-9851  
■HP: www.giftshow.co.jp/tigs/83tigs/index.htm

2/11(土・祝)・12(日)

WORKSHOP

## 紙の博物館・印刷博物館コラボレーションワークショップ 漉く・刷る 名刺 ~和紙漉きから活版印刷まで~

和紙漉きと活版印刷が体験できるワークショップ。紙の博物館で和紙を漉き、印刷博物館で和紙に活字を使って印刷するコラボレーション企画です。  
※18才以上で2日間参加可能な方に限りです。

- 会場: (公財)紙の博物館(東京都北区王子1-1-3) / 印刷博物館(東京都文京区水道1丁目3番3号トッパン小石川ビル)  
■料金: 500円(※別途各館の入館料が必要)  
■問い合わせ&TEL: 公益財団法人 紙の博物館(03-3916-2320) 印刷博物館 印刷の家(03-5840-2383)  
■HP: www.papermuseum.jp

※開館日・開館時間等は、各ホームページにてご確認ください。 ※イベント・展示は、諸事情により変更される場合があります。お出かけの際は、事前にホームページまたはお電話にてご確認ください。



輸送マイレージとCO2排出を抑え、地球温暖化に配慮したライスインキを使用しています。



針金・糊・熱が不要な製本方法を採用し、リサイクルや怪我の危険へ配慮しています。



国際紙パルプ商事株式会社  
KOKUSAI PULP&PAPER CO.,LTD.

発行: 経営企画本部 経営企画部 CSR・広報課  
〒104-0044 東京都中央区明石町6番24号  
TEL (03) 3542-4111 (代)

URL <http://www.kppc.co.jp/>



作る

紙と触れ合い、モノを作る

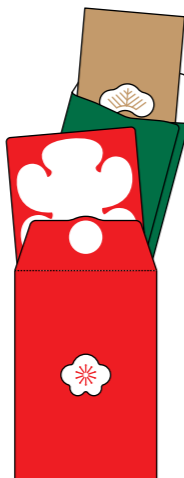
「PAPERCRAFT on the DESK」

# TSUNAGU特製

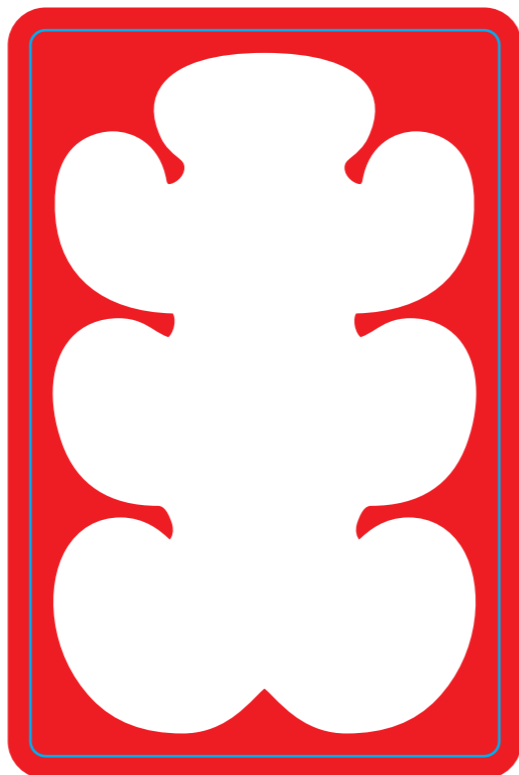
メッセージカード付き

## マトリョーシカ風ポチ袋

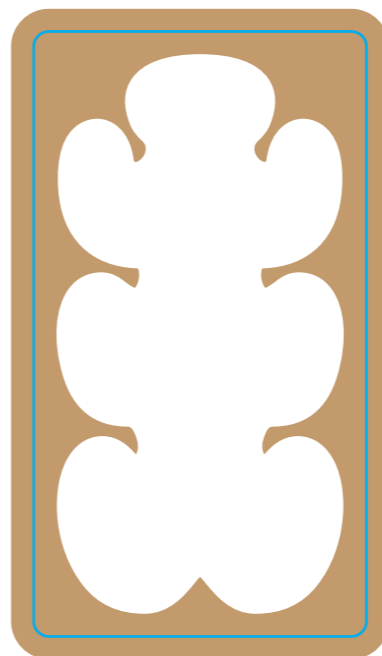
多くの親族が集い、新年を祝うお正月。子どもたちの楽しみは、何と言っても「お年玉」です。今年は、お年玉を包む「ポチ袋」にもひと工夫加えてみましょう。大・中・小と大きさの異なるポチ袋は、それぞれの大きさと金額を合わせて別々に使うもよし、マトリョーシカ風にひとつにまとめて、いたずら心を演出するもよし。松竹梅をあしらった縁起の良いポチ袋で、吉兆を呼び込んでみてくださいね。



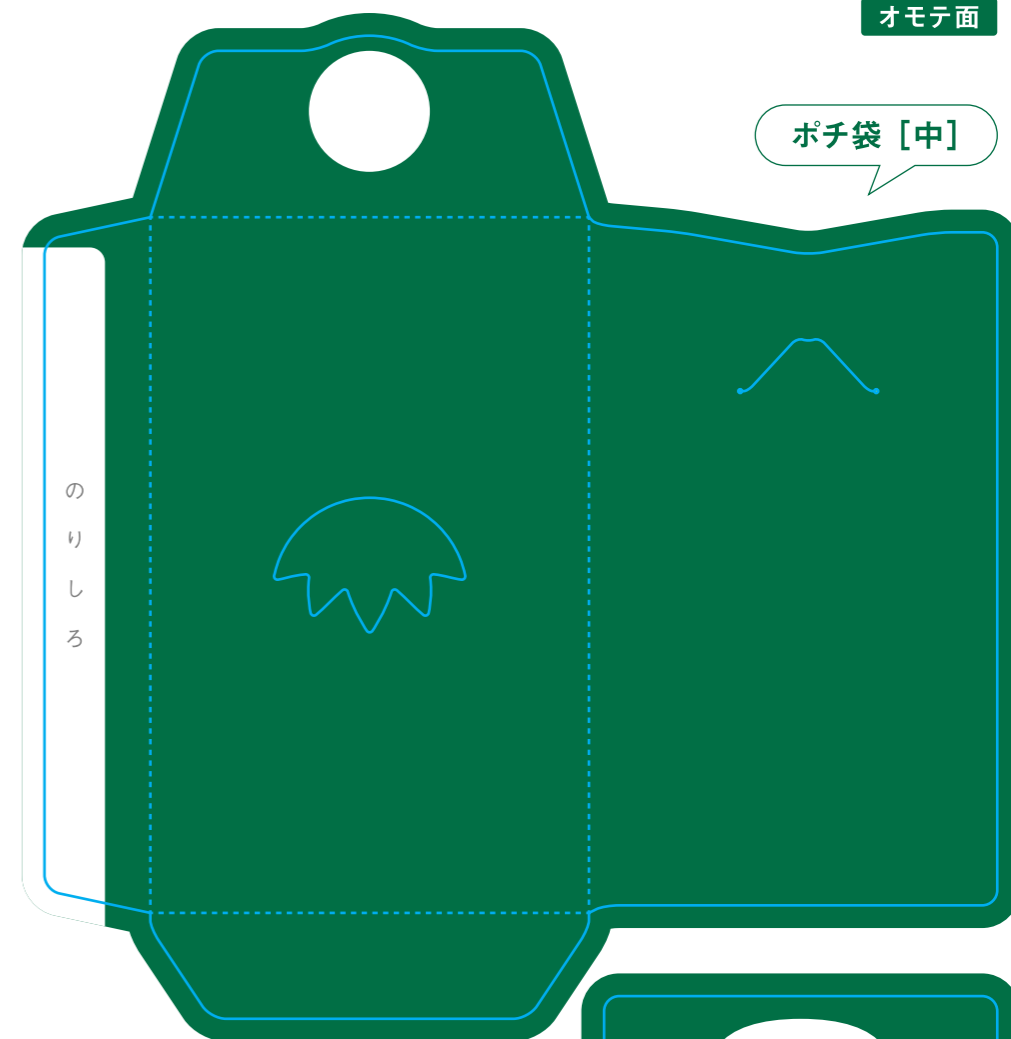
【作る】vol.30使用紙：NPI上質(104.7g/m<sup>2</sup>/日本製紙株式会社)  
汎用性が必要な上質紙の中でも白色度、不透明度をバランスよく高め、優れた印刷適性を備えています。保存性に優れた中性紙です。



ポチ袋【大】

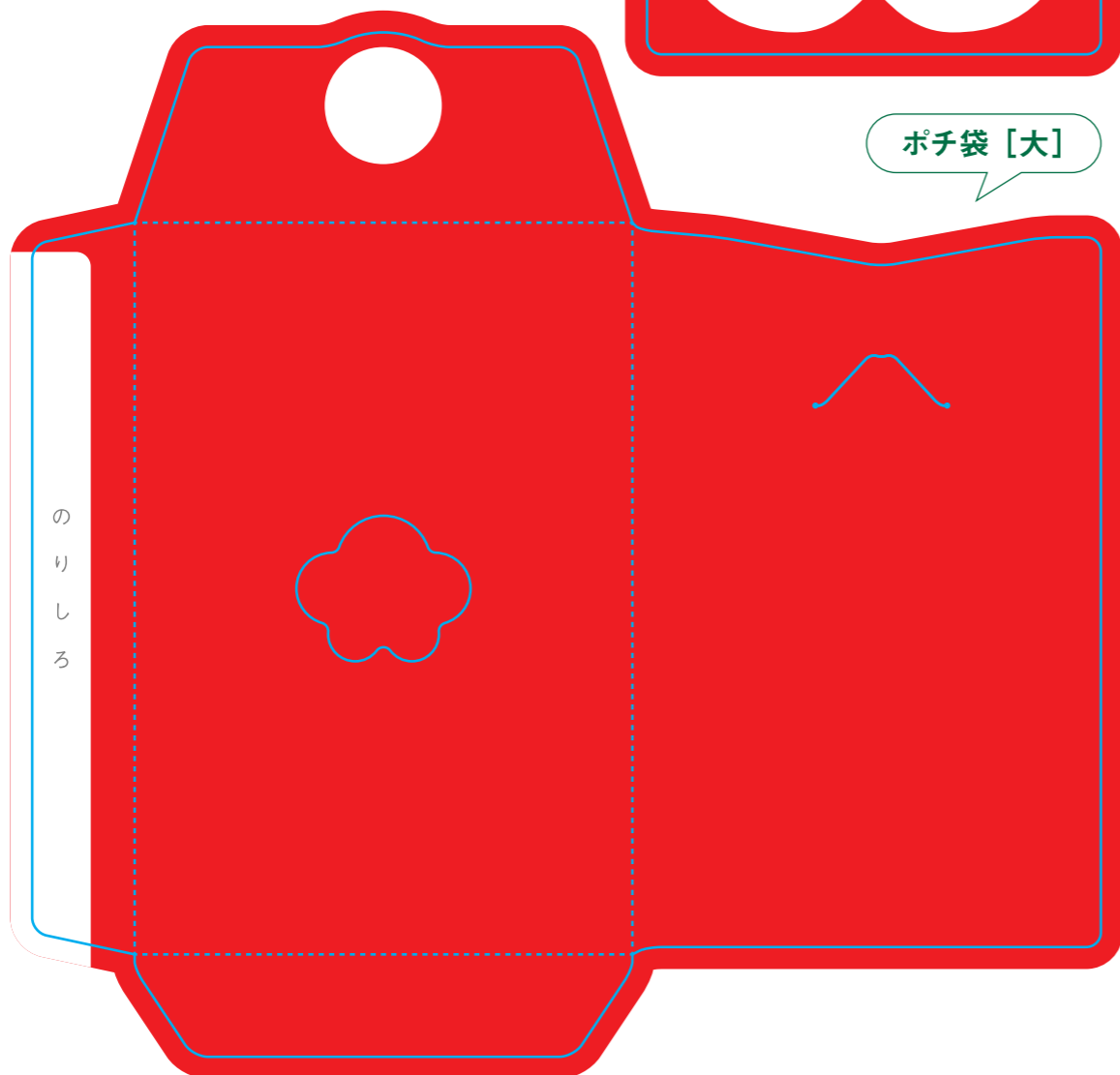


ポチ袋【小】



ポチ袋【中】

オモテ面

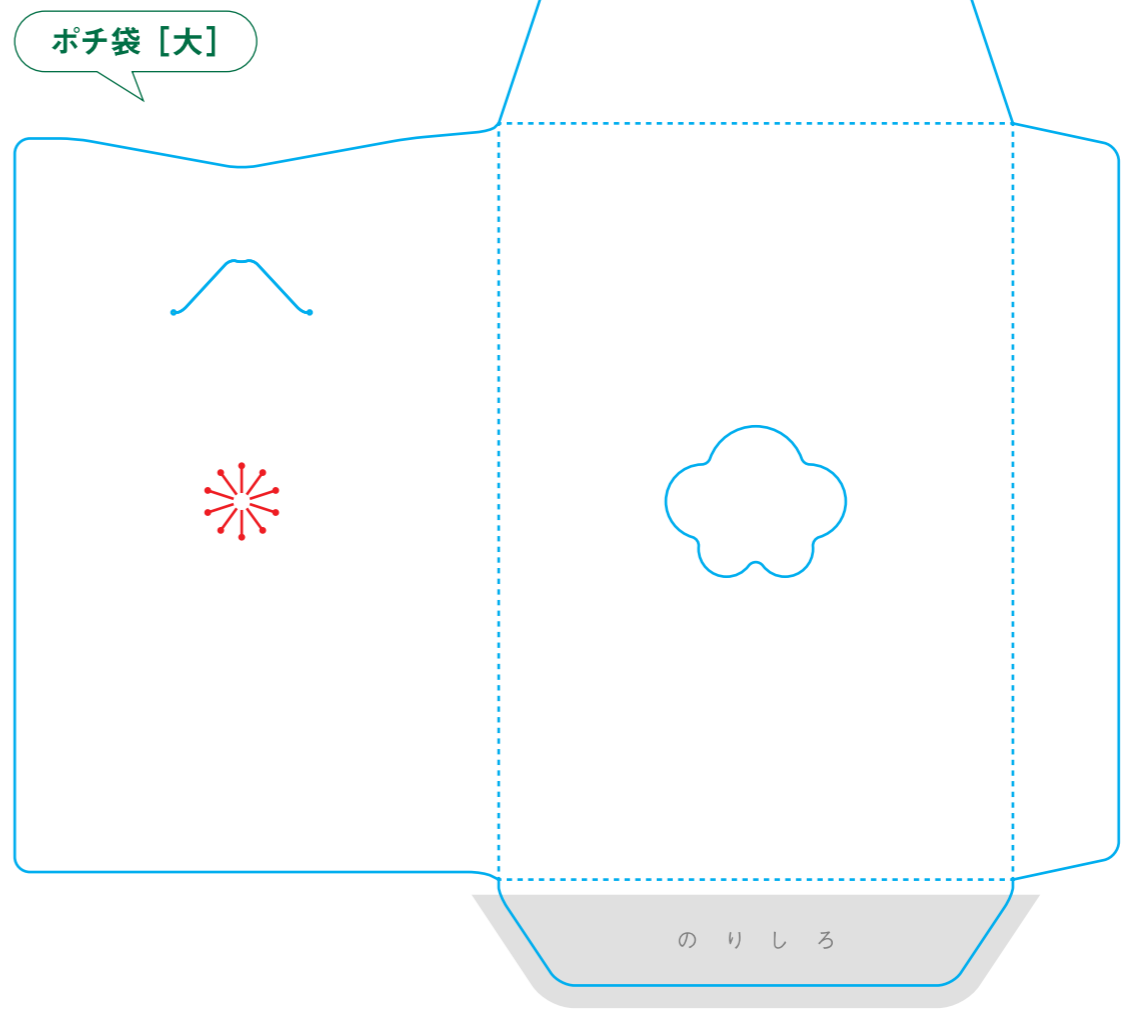
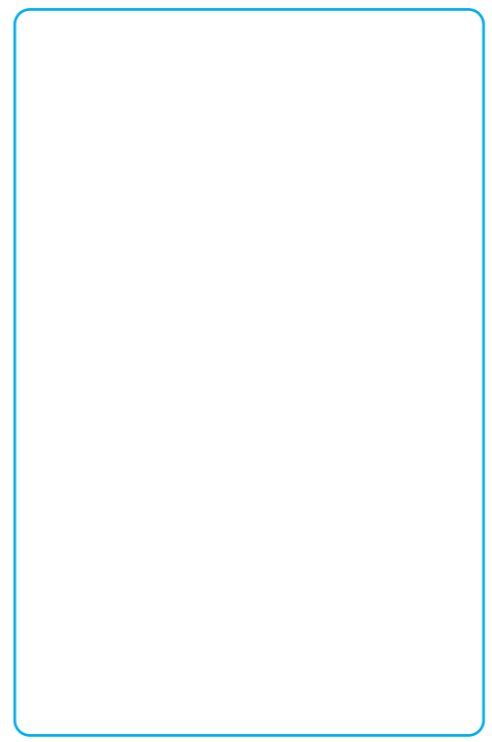
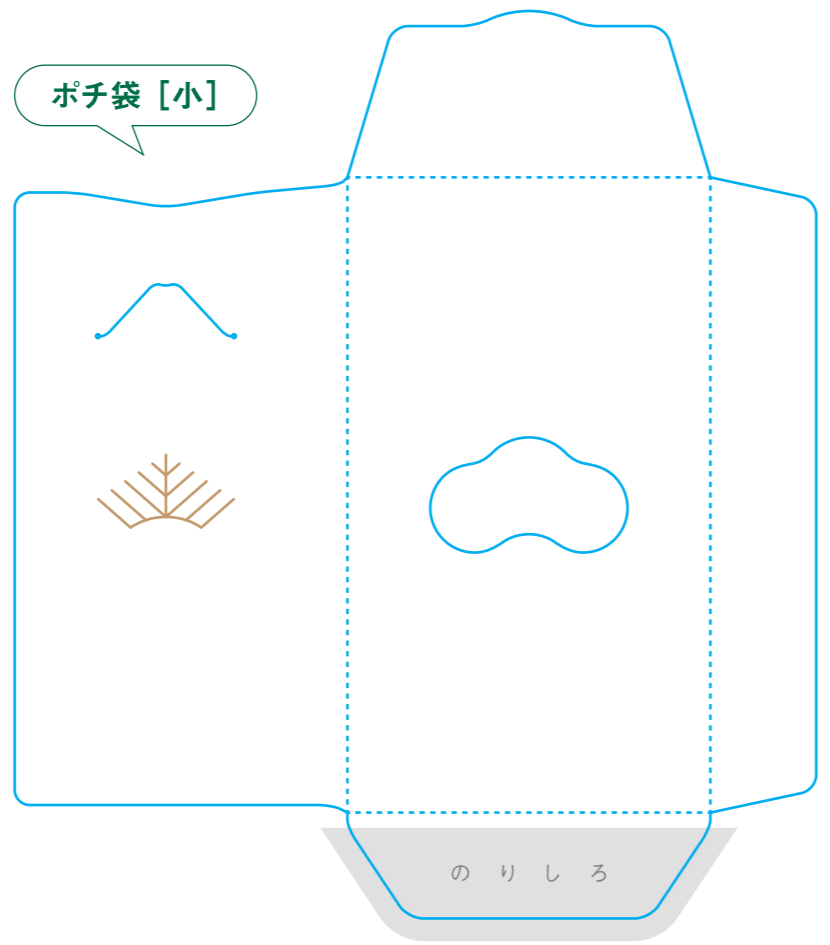
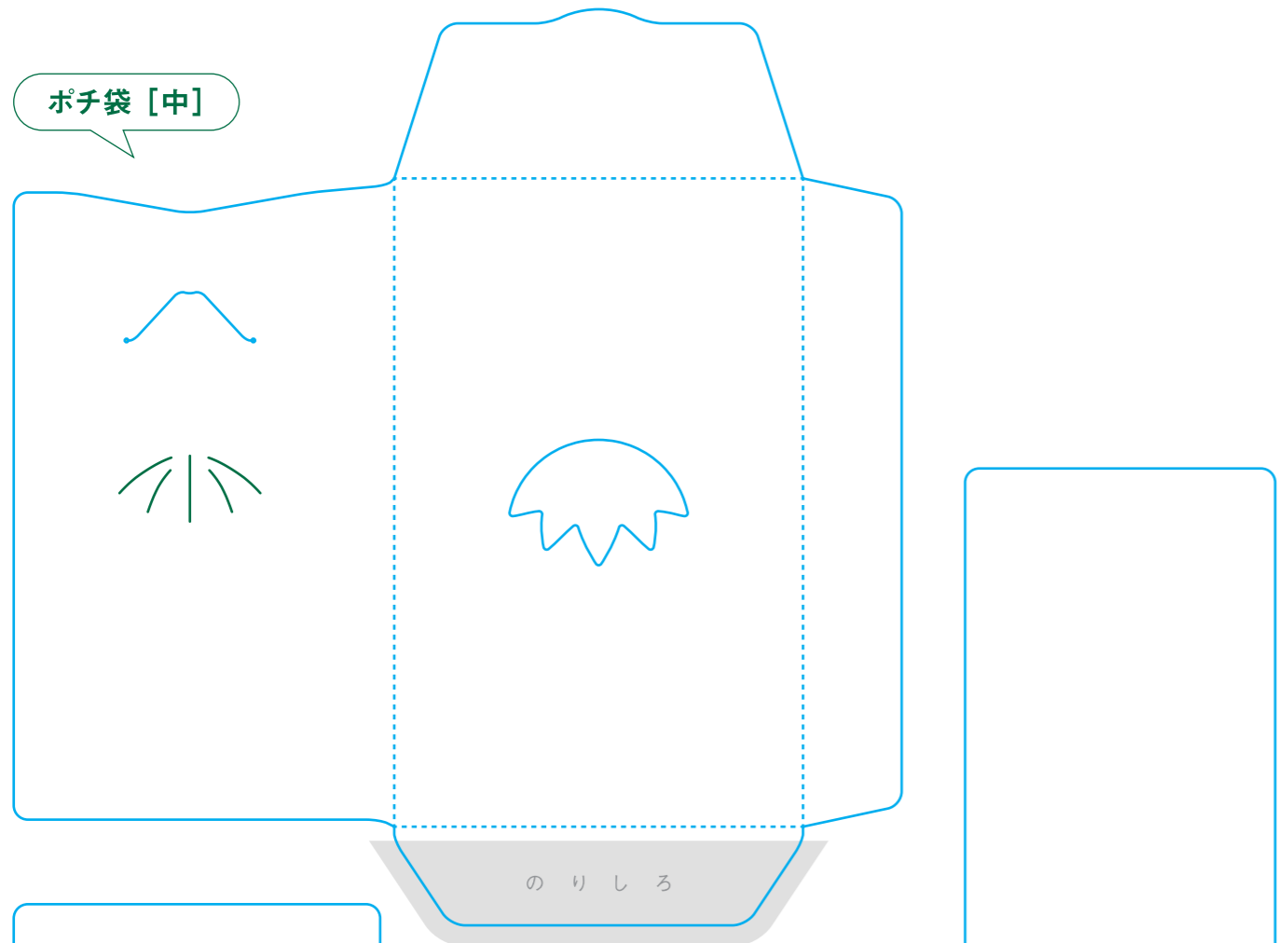


のりしろ

のりしろ

のりしろ



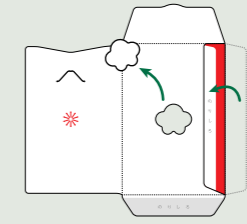


ウラ面

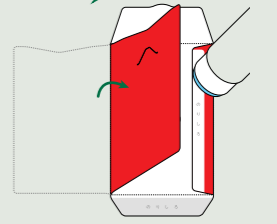
作り方

はじめに抜き型に沿って、大・中・小のポチ袋とメッセージカードを切り取ります。

ポチ袋の折り目は、オモテ面が山折、ウラ面が谷折となります。



1 切り取ったポチ袋は、ウラ面の右側を谷折します。その際、中央のマーク部分も抜き取ります。



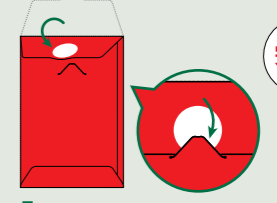
2 右側の折り返し部分にある「のりしろ」に糊を塗ってから左側を谷折し、しっかりと貼り合わせます。



3 下部の「のりしろ」にも糊を塗り、上部方向に谷折してしっかりと貼り合わせます。



4 裏返したらマークの抜き型から模様が見えることを確認し、大きさの異なる封筒やメッセージカード、お金を入れます。



5 最後に上フタを谷折します。その際、山型の切込みに差し込んで止めると、山頂と初日の出のデザインになります。



完成!

ほかのポチ袋も同様に!